

難波駅改良工事に着手します

～国際ターミナルとしての品格と機能性を備えた駅に再生します～

南海電鉄と南海グループの南海都市創造では、南海難波駅を中心に、「南海ビル」、「南海会館ビル」、「なんばCITY」、「スイスホテル南海大阪」などから構成される『南海ターミナルビル』などの再生計画に着手しています。

そして今般同計画の一環として、関西国際空港に直結し、大阪ミナミの玄関口でもある南海難波駅を国際ターミナルとしての品格と機能性を備えた駅に再生するべく、同駅改良工事の概要を下記のとおり決定しましたので、お知らせします。

記

1. 計画概要

(1) 駅のリニューアル

シンプルで分かりやすい機能的で快適な駅空間を目指します

ア、窓口の集約（シンプル）

分散していた乗車券売場を改札中央部に集約し、乗車券や特急券を1カ所で購入いただけるようにします。また現在1階にある定期券売場も2階中央改札に集約し、お客さまの利便性向上を図ります。

イ、案内施設の充実（機能的）

オープンカウンターを各階コンコースに設置するとともに、サインについても全面的な見直しを行い、親切で使いやすい駅を目指します。

ウ、構内トイレのリニューアル（快適）

コンコース内トイレのリニューアルを実施し、バリアフリー化を含め、お客さまが気持ちよく安心して使えるトイレを整備します。

(2) 周辺施設との連携強化

南海ターミナルビルの拠点として動線計画を行うことにより、周辺施設との連携を深め、新たな回遊性と難波駅全体のにぎわいを創出します。

ア、高島屋との接続

難波駅3階コンコースから直接高島屋へのアクセスが可能なエントランスを新設します。

イ、なんばCITY、なんばパークスなどとの接続

1階店舗と2階コンコースの上下移動をスムーズにするために、2階コンコースのエスカレータ移設を行い、新たな人の流れを生み出します。

(3) 構内店舗の充実

高島屋の新エントランス設置にあわせ、駅構内店舗の面積を約 2.3 倍に増床します。手軽にテイクアウトできる商品を充実させた店舗展開を図り、難波駅に一層のにぎわいを創出します。

2 . 総事業費 約 2 1 億 3 千万円

3 . 施工期間 平成 1 9 年 1 0 月 ~ 平成 2 1 年 8 月 (予定)

以 上